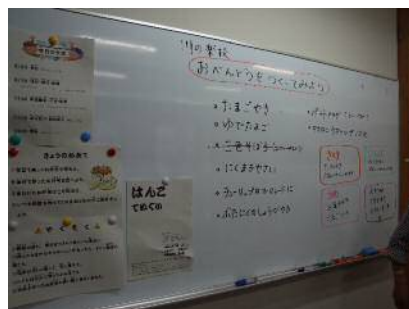


## 「食育月間」の取組実績

|  |  |
|--|--|
| <b>事例タイトル</b><br>平成 26 年度第 1 回川の楽校<br>「お弁当を作ってみよう」 | <b>実施主体：</b><br>川崎町子ども会育成会連合会<br><b>連携機関：</b><br>川崎公民館   |
| <b>目的</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食への関心、料理を作ってくれる人の苦労や感謝、自分で作ってみようとする自立心が芽生えるきっかけとする。</li> <li>・川崎産の農産物を使用した調理実習を通して、地域に対する理解を深める。</li> </ul>  |
| <b>対象</b>  | <b>対象：</b> 川崎地域の小学生および地域外の小学生<br><b>参加人数：</b> 低学年 8 人、高学年 8 人 (付添保護者 8 人)  |
| <b>場所</b>  | 川崎公民館 調理実習室  |
| <b>活動内容</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加承諾書に作ってみたいおかずを記入してもらい、講師と相談して、当日は 8 種類のおかずの材料を多めに準備した。ご飯は 1 か所で炊いた</li> <li>・ 4 人 1 グループで、2 品ずつ作るメニューを選び、調理した。</li> <li>・持参したお弁当箱につめて、一人ずつ写真撮影したあと、みんなで自分のお弁当を食べた。</li> <li>・入りきらなかったおかずやご飯もみんなで食べた。</li> <li>・使った食器、弁当箱などを自分で洗い、振り返りを記入して閉会した。</li> <li>・後日、調理の様子と弁当箱の写真を郵送した。</li> </ul> |
| <b>成果</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年の保護者が見守りや声掛けをしてくれたので、各グループで 1 品追加して作ることができた。</li> <li>・多く作ったおかずを、他のグループに分けあったので、子どもたちは喜んでお弁当箱に詰めたりおかわりをして、保護者が驚くほど食べた。</li> <li>・「相談して作ったことが楽しかった」、「もっといろいろな料理をつくってみたい」などの感想が寄せられた。</li> </ul>  |
| <b>課題及び<br/>今後の展望</b>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日の設定<br/>小学校の「おにぎり弁当の日」(5・6 年生が自分で作ったお弁当を食べる) と近く設定してしまった。</li> <li>・テーマの設定<br/>おかずの品数や調理手順が多くなり、低学年の参加者には難しかった。「たまご」等少し絞ったテーマにすると、子どもたちもスムーズに作業ができたと思われる。</li> </ul>  |



### その他参加者の感想

- ・いろいろな料理を作れて楽しかった。・おもしろかったことは、みんなと話しながらできたことです。
- ・弁当に具材を入れるのがむずかしかった。・たまごやきをまとめるのがむずかしかった。